

演劇・映画の専門図書館

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

公益
財団法人

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 251 (2019年2月) ■

平成31年2月8日発行

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 1月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『舌出三番叟』				
	『吉例寿曾我 鳴立澤対面の場』	○			
	『廓文章 吉田屋』	○			
	『一條大蔵譚 檜垣・奥殿』	○		○	○
	『絵本太功記 尼ヶ崎閑居の場』	○			
	『勢獅子』				
新橋演舞場	『松竹梅湯島掛額』	○			
	『義経千本桜 鳥居前』	○	○		
	『極付幡随長兵衛』	○	○		
	『三升曲輪傘売』	○	○		
	『鳴神』	○	○	○	○
	『牡丹花十一代』	○	○		
	『平家女護島 俊寛』	○	○		
浅草公会堂	『春興鏡獅子』		○		
	『戻駕色相肩』	○	○		
	『源平布引滝 義賢最期』	○	○		
	『芋掘長者』	○	○	○	○
	『寿曾我対面』	○	○		
	『番町皿屋敷』	○	○		
三越劇場 (日本橋)	『乗合船恵方萬歳』	○	○		
南座	『日本橋』	○	○	○	○
	『裏町の友情』	○		○	
	『お祭り提灯』	○		○	
	『喜劇 有頂天団地』	○		○	
松竹座	桂米朝一門会			○	
	『土屋主税』	○			
	『寿栄藤末廣』			○	○
	『心中天網島 河庄』	○			
	『通し狂言 金門五三桐 石川五右衛門』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	1月	metro『陰獣』プログラム
紀伊國屋ホール	1月	ASPイツフォーリーズ『ミュージカルYOSHIKO 悔いなき命を』プログラム、台本
国立劇場大劇場	1月	歌舞伎公演『姫路城音菊礎石』プログラム
ザ・スズナリ	12月	serial number『アトムが来た日』プログラム
シアタークリエ	12月	『ミュージカル オン・ユア・フィート!』プログラム
シアターコクーン	12月	『民衆の敵』プログラム
シアター風姿花伝	1月	パラドックス定数『トロンプ・ルイユ』プログラム
下北沢小劇場B1	12月	JACROW『夕闇、山を越える』『宵闇、街に登る』プログラム
世田谷パブリックシアター	12月	シス・カンパニー『日本の歴史』プログラム
俳優座劇場	1月	劇団1980『素劇あゝ東京行進曲』プログラム
博多座	1月	『島津重矢特別公演』プログラム、ポスター
博品館劇場	12月	エムキチビート『世界の終わりに君を乞う。』プログラム 『ダンスカンタービレ』プログラム 『ザ・ニューズペーパー30周年記念』プログラム
	1月	MASHIKAKU CONTE LIVE『老角獣 ユニコーン』プログラム 五反田タイガー『OH, MY GODDESS!!あなたが望むなら』プログラム OSK日本歌劇団『円卓の騎士』プログラム
御園座	1月	『松平健・中村美律子新春特別公演』プログラム
明治座	1月	『由紀さおり50周年記念公演』プログラム 『50周年記念前川清特別公演』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2019年FEBRUARY	『御園座演劇図書館Newsletter』Vol.10
『JATE』No.84	『国立演芸場公演ガイド』平成31年2月号
『TICKETS GO!GO!』Vol.87	『人形劇のひろば』118-128号
『the座』号外アフリカ版特別号	『大向う』平成31年2月号
『あぜくら』2019年1月号	『長唄』124号
『えんぶ』2019年2月号	『伝統文化新聞』152号
『ほうおう』2019年3月号	『銅鑼ニュース』103-113号
『みんなとプーク』No.253-266	『日本芸術文化振興会ニュース』平成31年1月号
『テアトロ』2019年2月号	『日本劇作家協会会報 ト書き』61号
『ミュージカル』2019年1月-2月号	『日本照明家協会誌』2019年1月号
『ヨーロッパ通信』16号	『日本舞踊』71巻2月号
『ラ・アルプ』2019年2月号	『悲劇喜劇』2019年1月号
『演劇界』2019年3月号	『舞台芸術研究』23号
『演劇創造』47号	『文学座通信』Vol.685-714
『喝采』2019年5月	『文楽通信』21号
『芸劇BUZZ』Vol.26	『邦楽の友』平成31年2月号

■ 映画雑誌 ■

『SCREEN』2019年3月号	『映画芸術』466号
『TVガイド』2018年12/7号,12/14号,2019年1/6号,1/11号,1/18号,1/25号,2/1号	『映画時報』2019年1月号
『おとなのデジタルTVナビ』2019年3月号	『映画秘宝』2019年3月号
『キネマ旬報』2019年2月上旬号,2月下旬号キネマ旬報ベスト・テン発表特別号,増刊キネマ旬報NEXT Vol.23	『衛星劇場プログラムガイド』2019年2月号
『シナリオ』2019年3月号	『活狂』No.162-175
『シナリオ教室』2019年2月号	『松竹[社報]』209号
『シネ・フロント』2019年1月号	『東映キネマ旬報』Vol.32
『ロケーションジャパン』2019年2月号	『日経エンタテインメント!』2019年2月号
	『文化通信ジャーナル』2019年1月号
	『友 I w a n a m i H a l l 』No.391

(新着資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『シネマ歌舞伎 沓手鳥孤城落月 楊貴妃』	○		○		
『天才作家の妻 40年目の真実』	○	○	○		
『あした世界が終わるとしても』	○				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- | | | |
|--|------------------------|---------------------|
| 『二階堂家物語』 | 『十二人の死にたい子どもたち』 | 『雪の華』 |
| 『七つの会議』 | 『フロントランナー』 | 『メリー・ポピンズ リターンズ』 |
| 『ナチス第三の男』 | 『サスペリア』 | 『がっこうぐらし!』 |
| 『喜望峰の風に乗せて』 | 『映画刀剣乱舞』 | 『ヴィクトリア女王 最期の秘密』 |
| 『PSYCHO-PASS サイコパス Sinners of the System Case.1 罪と罰』 | | |
| 『マイ・ジェネレーション ロンドンをぶっとばせ!』 | | 『蜘蛛の巣を払う女』 |
| 『デアンドナイト』 | 『この道』 | 『TAXi ダイヤモンド・ミッション』 |
| 『マスカレード・ホテル』 | 『ホイットニー オールウェイズ・ラヴ・ユー』 | |

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

- | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------|
| 『日本におけるフィルムアーカイブ活動史』 | 石原香絵 (著) | 美学出版 |
| 『Archive of Lights』 | 国立映画アーカイブ (編)、山村浩二 (絵) | 国立映画アーカイブ |
| 『JAPANESE FILM 2018』 | | UniJapan [ユニジャパン] |
| 『エンジェル ウォーズ オフィシャルガイド』 | ザック・スナイダー (著)、富永和子+富永晶子 (訳) | 小学館集英社プロダクション |
| 『完全保存版 アニメと鉄道』 | 「旅と鉄道」編集部 (編) 天夢人 (発行)、山と溪谷社 (発売) | |
| 『ジョーダンバットが鳴っている』 | 戸塚祥太 (著) | KADOKAWA |
| 『memorial photobook 2018 summer』 | | 松竹+OSK日本歌劇団 |
| 『大谷会長関係記事』 | | [松竹] |

≫≫ 資料提供 (2018年10月~2019年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

展示

- 「歌舞伎の世界展 The 2nd KABUKI とふれ合おう」 2018年12月27日~2019年1月6日 西武池袋本店7階催事場
スーパー歌舞伎初演の演劇プログラム (『ヤマトタケル』『リユーオー』『オグリ』『八犬伝』『カグヤ』『オオクニヌシ』『新・三国志』) を提供
- 「木挽町ホール特別展 平成歌舞伎三十年博リニューアル」 2019年1月2日~ 歌舞伎座ギャラリー内 木挽町ホール
演劇ポスター (『陰陽師』平成25年9月歌舞伎座) を提供

プログラム掲載

- 「歌舞伎座百三十年 芸術祭十月大歌舞伎」 2018年10月1日~25日 歌舞伎座
連載「筋書でみる歌舞伎座130年」に歌舞伎座筋書の図版7点を提供
- 「歌舞伎座百三十年 吉例顔見世大歌舞伎」 2018年11月2日~26日 歌舞伎座
連載「筋書でみる歌舞伎座130年」に歌舞伎座筋書の図版9点を提供
- 「歌舞伎座百三十年 十二月大歌舞伎」 2018年12月2日~26日 歌舞伎座
連載「筋書でみる歌舞伎座130年」に歌舞伎座筋書の図版10点を提供

放送

- 「ファミリーヒストリー 堺正章」 2019年1月14日 19:30~20:45 NHK 総合テレビ
雑誌『SHOCHIKU REVIEW NEWS』『楽劇』を提供

専門図書館協議会新春講演 「国立映画アーカイブのめざすもの」

2019年1月18日 15:30～17:00

東京商工会議所 5F 会議室

講師：岡島尚志氏（国立映画アーカイブ館長）

出席者：飯塚美砂、井川繭子

国立映画アーカイブは、映画専門の保存・研究・上映を行う日本国内唯一の機関である。昭和 27（1952）年に設置された国立近代美術館のフィルムライブラリーに始まり、昭和 45（1970）年に東京国立近代美術館フィルムセンターとして開館していたが、新たに平成 30（2018）年 4 月、“第六の国立博物館”としてスタートを切った。その国立映画アーカイブのめざすところについて、館長である岡島氏にお話を伺った。

国立アーカイブは国立近代美術館から独立するにあたり、その名称をいかにするかがまず問題になったという。「国立」「映画」は外せない。だがそのあとにつけるものは…「協会？」「ミュージアム？」「博物館？」「研究センター？」。

旧フィルムセンターの仕事の内容は、

- ・フィルムを収集し保存する。
- ・優れたフィルムを修復し、活用する。
- ・ノンフィルム資料（ポスター、プレスシート、スチール、図書、機材、大道具や衣装他）を収集し保存する
- ・優れたフィルムを上映し、紹介する

など多岐にわたっており、一つの枠にはめられない。

いくつか候補のあった中で選ばれたのがこの「アーカイブ」という名称。そもそも「アーカイブ」とはなにか。古い辞書には archives：公文書保存所、公文書、古記録とあり、文化的に価値のあるものを保存して、後世に繋げることであり、本来はその場所や組織のことをさす言葉である。最近ではコンピューター用語としてデータやメールを保存するという意味でつかわれることも多くなった。「可能な限りフィルムを網羅的に集め、保存し、活用していく」のがこの館の使命である。そこで、まだ世間的になじみにない言葉を根付かせたいという期待も込めてこの「アーカイブ」という言葉を選んだという。

本館は東京都中央区京橋だが、神奈川県相模原分館には米軍キャンプから返還された跡地に第一、第二倉庫と重要文化財倉庫を有し、現在 80,000 本の映画フィルムを所蔵している。このうち 71,000 本が日本映画である。フィルム所蔵数は平成 12（2000）年の時点で 25,000 本だったので近年目に見えて増加している。このほかに各映画会社などから寄託されたフィルムも保管しているが、寄贈寄託にかかわらず著作権は元のままの扱いとなるとのことである。

資金調達のこと、人材のことなど、話は多岐にわたり、いずれも興味深く拝聴したが、中でも力説されていたのが「フィルムをすてないで！フィルムを正しい方法で保管して！」である。

デジタル全盛のこの世の中に、なぜフィルムを保管しなくてはいけないのか。

映画発祥から最近まで、映画はフィルムで撮影されてきた。昨今は、技術が進み、初めから映像はデジタル撮影されるようになり、かつてフィルムで撮影された映画もデジタルリマスターなどが行われている。しかし、デジタル化されたからと言ってフィルム原版を廃棄してよいものではない。なぜなら、数年前まで 2K、3K の再生であったものが今や 8K も可能である。今後技術が一層進歩し、より高度なリマスターができるようになったときも、原版さえあればそこから高精度映像への変換が可能である。一方、デジタル映像では何らかの意図をもって容易に改変されるおそれがあり、製作者の意図が正しく伝えられない、または捻じ曲げられる懸念もあるが、これもまた原版さえ残っていればオリジナルを確認することができる。

また、古いフィルムは自然発火し、火災をひきおこし、加水分解によるビネガーシンドロームで腐食してしまうので、早急に温度・湿度の管理された倉庫で保管しなければならない。その保管費用は多額であるが、適切に保管すれば長期にわたり安定的に保存でき、デジタル保存より信頼度が高く、コスト的にも優れていることが明らかになっている。映画作品は文化的財産である。フィルムが取り返しのつかない状態になる前に、まずは相談してほしいとのことだった。

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2019（平成31）年1月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



当館閲覧室内に展示中の「一之谷熊谷陣屋之場五枚続組上」複製組上完成形。目録カードボックスの上にあります

■ 春秋特別整理休館のお知らせ ■

平成31年 3月2日（土）より

3月17日（日）まで

資料整理のため休館いたします。

3月18日（月）より通常通り開館いたします。

■ 編集後記 ■

▼たぐいま、歌舞伎座「二月大歌舞伎」夜の部で『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』を上演していますが、この上演を記念して、当館が所蔵する組上燈籠絵「一之谷熊谷陣屋之場五枚続組上」（大正2〔1913〕年）の、複製の組上完成形を当館閲覧室内で展示しております。歌舞伎座、新橋演舞場での観劇など、お近くにお立ち寄りの際は、是非当館まで足をお運びください。お待ちしております。当館の組上燈籠絵は「松竹大谷図書館所蔵『組上燈籠絵』検索閲覧システム」で、検索・閲覧が可能ですので、「熊谷陣屋」などのキーワードで検索してみてくださいませ。



● 利用案内 ●
開館時間
 平日午前10時～午後5時
休館日
 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春秋 夏期特別整理期間
 ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
入館料 無料
閲覧 館内閲覧のみ
交通案内
 ● 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
 ● 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



組上燈籠絵「一之谷熊谷陣屋之場五枚続組上」複製の組上完成形(部分)